

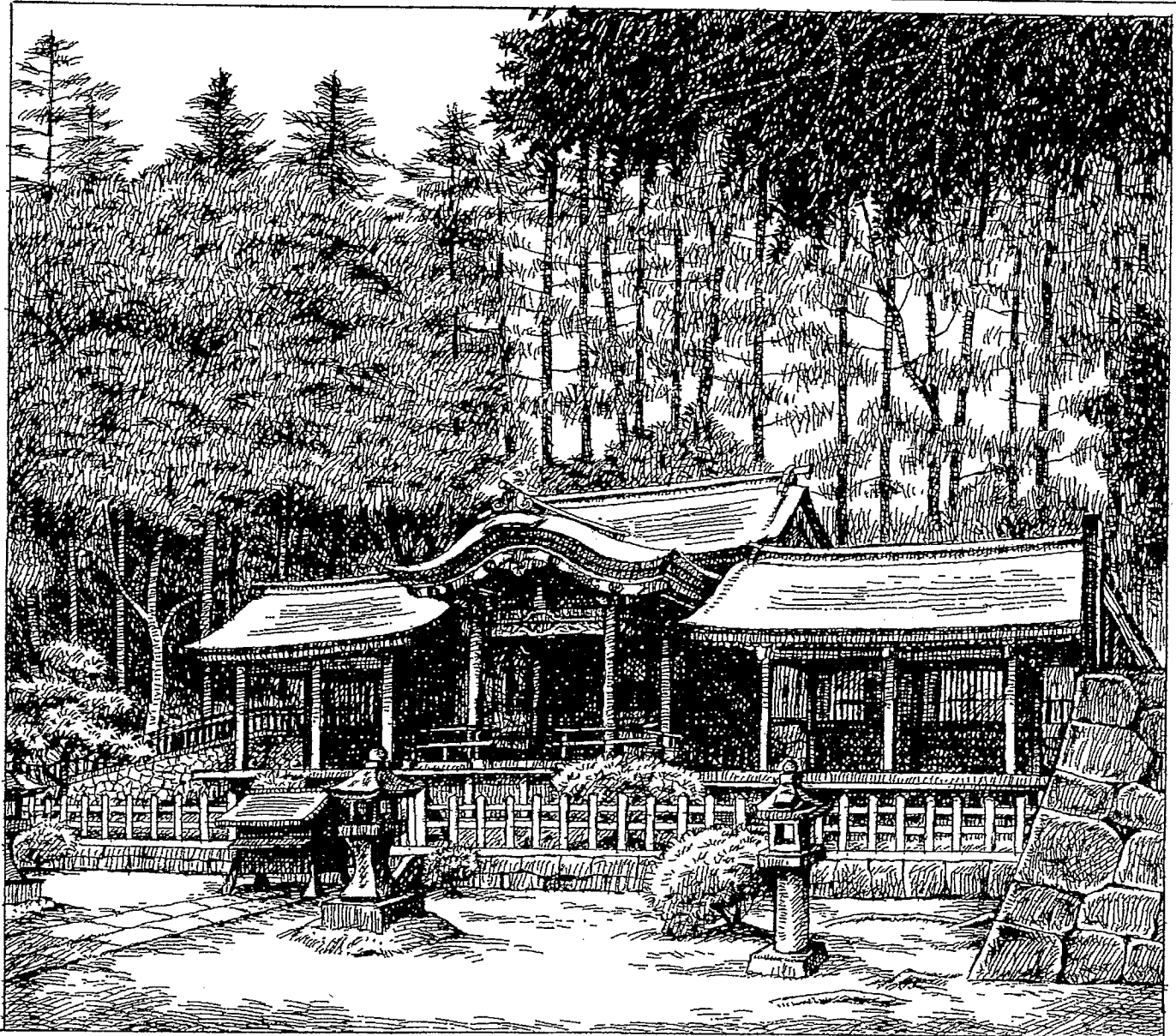


# 諏訪ユネスコ通信

発行日  
平成 27 年 11 月 31 日  
発行者  
諏訪ユネスコ協会  
編集委員会

諏訪ユネスコ協会

第 14 号



挿絵：谷澤信憲

## 乙事諏訪神社(おっことすわじんじゃ)

昔、富士見町乙事区の旧乙事村には、古くから鎮守神と産土神、氏神を祀る神社二社があった。この二社ともに文化八年(1811)諏訪明神を勧請して乙事諏訪神社上社・下社となった。昭和23年上社が火災にあい、復旧にあたって、下社本殿を上社に移築して本殿とし、上社・下社を合併して一社とすることにした。そして現在の乙事諏訪神社となった。

社殿は諏訪大社の前身「諏訪神社上社本宮」の幣拝殿を移築したもので、昭和5年に国宝に指定された。現在は火災による復元再建、昭和25年施行の文化財保護法により「幣殿」のみ重要文化財に指定されている。

## 中部東ブロックユネスコ活動研究大会 in 静岡

### 1日目

平成27年度「中部東ブロック活動研究大会」が9月12日(土)・13日(日)、静岡市清水区の「日本平ホテル」にて静岡・山梨・神奈川・長野の4県、24協会から約160人が参加し開催された。

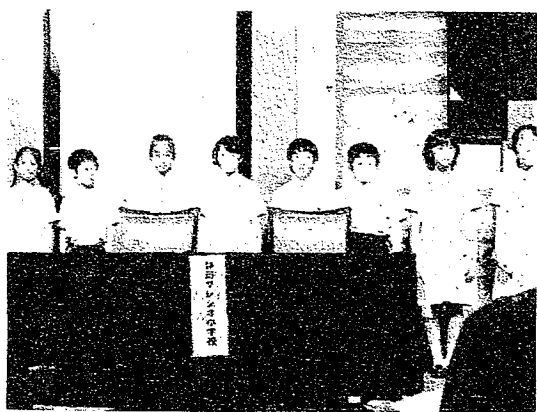
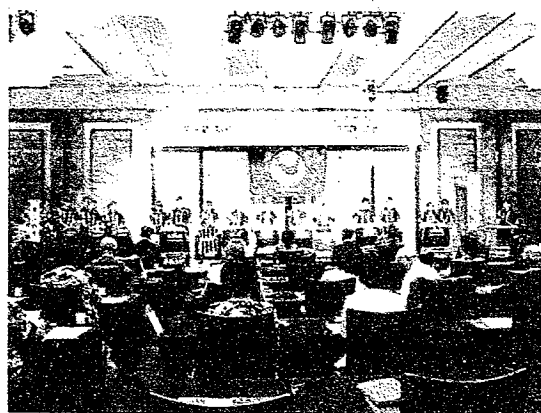
### 大会テーマ

「持続可能な社会のための教育 (ESD) の推進」  
～ユネスコスクールのさらなる普及を目指して～

オープニングに静岡市立玉川中学校の全生徒による「玉川太鼓」の演奏が披露され開会式を盛り上げた。

基調講演は「富士山の世界遺産と次世代へ引きつぐユネスコの心」と題して川勝平太・静岡県知事が講演をされた。

続いて今大会のテーマ「持続可能な社会のための教育 (ESD) の推進」を実践している、小中学校・こども園等が研究発表を行なった。



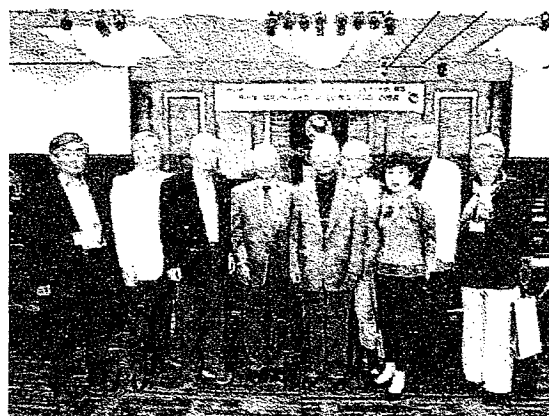
静岡市立玉川中学校は過疎化が深刻化しており地域の担い手を育む教育として、玉川太鼓、茶の生産等の実践活動を紹介した。静岡サレジオ小学校ではオーストラリアへの修学旅行、英語劇、外国人との様々な交流を発表した。静岡市立由比こども園は園児の自主性を育てるための物作りを、それぞれビデオとあわせ紹介した。

### 2日目

静岡大学・梅沢収教授による「21世紀型能力とESDをこれからの学校教育の主軸に」と題する講演が行われた。

次回の開催地である山梨県「忍野ユネスコ協会」の『「地域・行政・学校との連携～ESDへの第一歩」への展望』と題する研究発表が行われ、本年度の大会を閉会とした。

なお、諏訪ユネスコ協会の参加者は9名。



## 基調講演

# 「富士山の世界遺産と次世代へ引き継ぐユネスコの心」要旨

静岡県知事 川勝 平太

「政治は文化の僕」。政治も経済も文化に奉仕すべきであり、そのために仕事をすべきである。

70周年ということ、1945年戦争が終わった年、国際連合が発足。第一次及び第二次大戦のすさまじい破壊を受けて、いかに戦争のない社会を作っていくか、ということで、この国連が出来た。



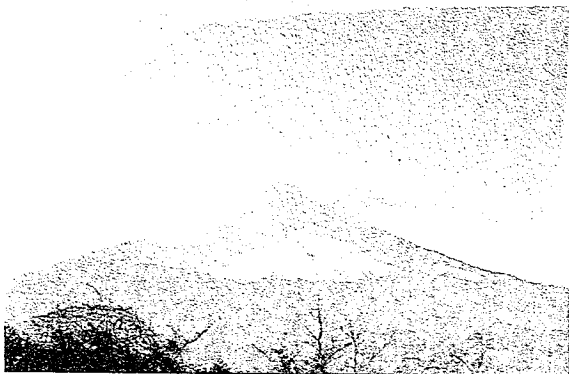
国連憲章において紛争を解決する手段として武力の行使、武力による威嚇をしない、ということがうたわれた。その精神を受けて、このユネスコが1945年の秋成立。いかにして戦争のない社会を創れるか、平和を創り出すためには教育と科学する心そして文化のオーガニゼーション (UNESCO) を通して平和の心を創り出すことが必要。

現在日本の世界遺産は文化遺産14、自然遺産4の18件。

世界遺産になった富士山、世界遺産委員会の全員が賛成し誰も反対しなかった。富士山は日本の象徴。富士山登録の正式名は SECRET PLACE AND SOURCES OF ARTISTIC INSPIRATION 「富士山—信仰の対象と芸術の源泉」あえて言えば、富士山は日本国の象徴であり、並びに日本国土統合の象徴である。富士山は誰もが美しいと感じる。美しいと感じる心は神様からの贈り物。心を美しくする、生活を美しくするということが大切。

富士という意味はもともとアイヌ語に由来していると言われている。最初は幸福の福に慈しみの慈を当てていた。「福慈」これは長寿を意味している。

「富士山は私たちに自然と人間の共生について教えてくれている。この小さな列島の中で、私たちは常に世界に目を向け、我々が生きているこの現場をよく見、よく知り、そして後世にそれを伝える。」これがユネスコの精神にかなっている。教育、文化、科学する心が大切。その活動に関わっておられるユネスコの皆様に敬意を表し、それぞれの地域でご活躍されますようにご祈念申し上げたい。



9月26日、茅野市が生んだ偉大な教育者・長田新を顕彰して「今、長田新に学ぶ～命を大切に教育とは何か」と題するフォーラムが、ふるさと文化を語り継ぐ会、茅野市教育委員会、諏訪ユネスコ協会他の主催により茅野市役所大ホールで行われた。



長田新は明治26年、現在の茅野市豊平鬼場の農家に生まれ、当時の古田小学校の下古田分校に入学。担任の塚原浅茅先生(島木赤彦の父)から多大な影響を受けた。

明治34年、諏訪中学校(諏訪清陵高校)に入学。勉強と剣道に励み、「文武両道」を行く生徒であった。

明治39年、諏訪中学校を卒業した長田は広島高等師範学校(広島大学教育学部)、さらに京都帝国大学で哲学科(京都大学文学部)に学び、小西重直・澤柳政太郎らの恩師にも恵まれ教育学を培って行く。

やがて母校の広島高等師範学校の教授に就任。スイスの近代教育の父と言われるペスタロッチーに傾倒し、その研究と教育実践を深めて行く。そうした長年の功績が認められスイス政府から「ペスタロッチー賞」を授与されている。

長田は一貫して平和主義を唱え、自身も広島で被爆した体験に基づいた「原爆の子」を出版し映画化され、彼の平和への想いが多くの人々に伝えられた。

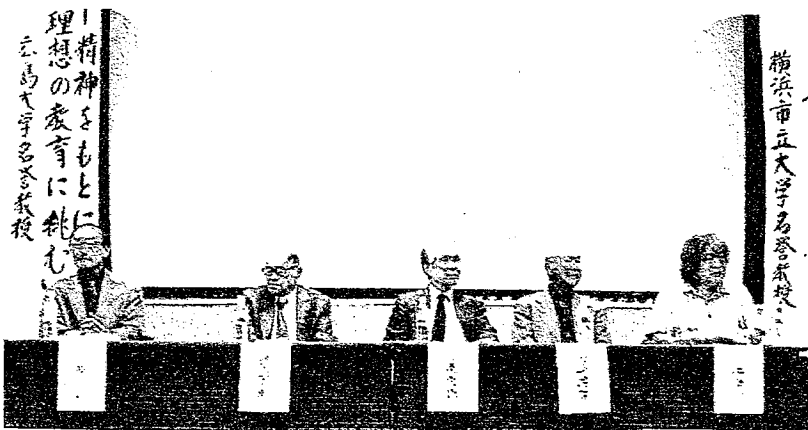
フォーラムでは、長田新の四男で元横浜市立大学教授の長田五郎さんが父について語った。広島原爆投下の際には、瀕死の父を瓦礫の下から救出したことや、ペスタロッチー研究に生涯を捧げた父の思い出などが話された。

次いで「ペスタロッチーの精神をもとに理想の教育に挑む」と題して元広島大学教授の広瀬俊雄さんが講演し、長田新の業績を称えた。

休憩を挟み前記講師の他に川島弘さん(『原爆の子』の父 長田新)の著者)、中澤準一さん(学校教育の中にバンドーラの楽器製作を導入)、矢崎靖雄さん(諏訪ユネスコ協会会長)を交えてのパネルディスカッションが行われ、学校教育の現状と課題などが討論された。



なお、共催演奏として中澤準一さんが指導している木曾の小森の会によるバンドーラとヴァイオリン(自ら手作りによる楽器)の演奏が披露され、盛大な拍手を受けていた。



## 地域遺産部会見学会

# 富岡製糸場と高山社跡

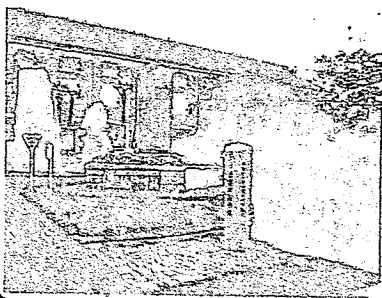
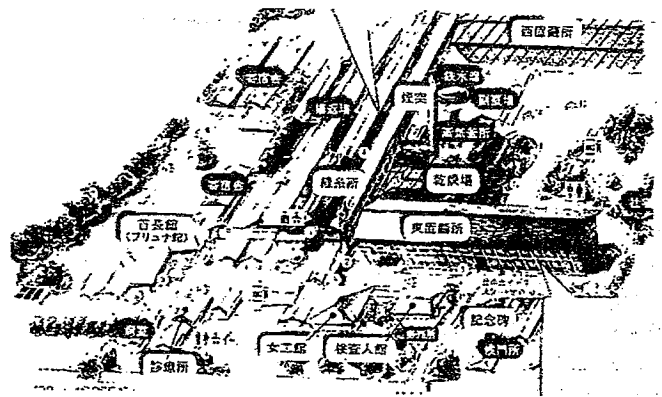


地域遺産部会は「地域の歴史文化遺産」の学習活動の一環として、昨年度は明治初期から大正、昭和にかけて生糸の一大産地として発展し、明治政府の殖産振興に貢献した、諏訪地域の蚕糸業について岡谷蚕糸博物館・館長の講演会を開催。

続いて、上州式繰糸機、諏訪式繰糸機、自動繰糸機の動態展示を併設した「岡谷蚕糸博物館」の見学

会を行った。

今年度は岡谷市と姉妹提携都市である富岡市の平成 26 年世界遺産となった「富岡製糸場と絹産業遺産群」中の「富岡製糸場」と「高山社跡」の見学会を 10 月 31 日(土)、会員 10 名が参加して行った。



富岡製糸場は明治維新の新政府による、殖産振興政策に基づき近代工業の育成と輸出増加をめざした。輸出品の要であった生糸の品質改良と大量生産を可能とする機械製糸工場の導入と推進のため、明治 5 年富岡に官営製糸場として建設された。フランスより技師を

招いて技術の導入と工女の養成をはかられた。

官営工場から三井家、原合名会社、片倉工業株式会社と引き継がれ昭和 62 年まで 115 年間操業を続け、その後片倉工業(株)の「売らない、貸さない、壊さない」の方針により年間 1 億円もの費用を使い維持されて平成 26 年に世界遺産登録となった。

高山社跡は、高山社の創始者高山長五郎が養蚕法の改良を行った高山社発祥の地で、大変優れた養蚕法「清温育」で良質な繭の安定供給を可能とし、明治 32 年には養蚕授業員は 24 府県に派遣され、高山社生徒は 34 府県から集まっていた。



各遺産とも専属のガイドさんによる丁寧な説明がされていた。

今回の見学会はあらためて世界遺産に登録された価値ある資産であることを認識し、文化遺産の保護の大切さと日ごろの活動の必要性を感じた一日だった。

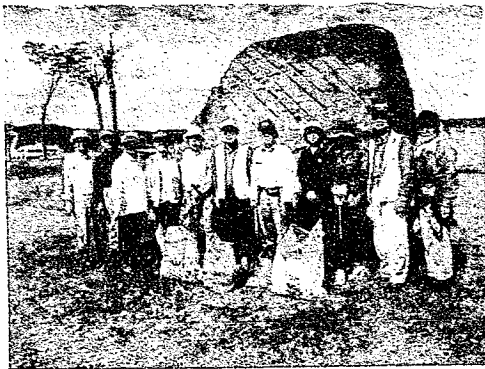
## 諏訪湖アダプトプログラム・諏訪湖畔の清掃実施

本年度第2回目の事業が台風一過の秋空のもと、諏訪湖新作花火大会の余韻の残る9月10日(木)午前9時より、諏訪湖石彫公園一帯を行った。

全国から大勢の観客が訪れた会場の清掃作業で、ゴミの多さが予想されたが事前に関係者の清掃と、観客のマナーが良くなったのか、ゴミの量は予想したよりは少なかった。



可燃物：45kg・ビン類：5kg・缶類：5kgを回収した。



第3回目の湖畔清掃は、諏訪湖マラソン大会の前日10月24日(土)午前9時より、爽やかな秋空のもと、きれいな諏訪湖畔を全国各地から参加する多くの人たちが気持ちよく走ってもらえるように、諏訪湖石彫公園一帯を行った。

諏訪湖の水位が少な目で、湖岸に打ち寄せられたポリ袋やペットボトルがあり、可燃物：40kg・ビン類：6kg・缶類：4kgを回収した。

### 理事会報告

第53回理事会 平成27年7月21日(火)午後6時30分 於；事務局

#### 1. 事業内容の確認について

- ・部会の名称の一部変更と1部会(ユネスコスクール推進部会)の増部が決まった。  
{地域遺産部会}
- ・100年後の子孫に地域の有形・無形の文化遺産、自然遺産を伝える事が出来るよう施策・提言を含めた啓発・保護運動に積極的に取り組む。
- ・6市町村にある文化施設・歴史的人物・お宝の発掘等。

#### {寺子屋部会}

- ・「すべての人に教育を」という目標を達成する為に「書損じハガキ」を集め、貧しい国の子どもたちの学びの一助に助成する活動。

#### {ユネスコスクール推進部会}

- ・6市町村の学校が「ユネスコスクール」に登録できるよう働かける為の取り組み。

#### {環境問題推進部会} (旧：地域実践部会)

- ・より良い環境づくりに貢献し、地域の未来を作るための活動として「諏訪湖水質改善と浄化の推進活動」の一環である「諏訪湖アダプトプログラム」への参加。
- ・6市町村の環境問題への取り組み。

#### {広報部会}

- ・「諏訪ユネスコ通信」の編集及び発行。・各行事の記録写真。
- ・各市町村への広報活動(教育委員会・学校・新聞社等)。

#### 2. 会費納入状況について

- ・法人会員「ベルファイン」橋場 実 → 個人会員：橋場 実に変更。
- ・会計より未納者の報告があり地区毎に確認を行った。

#### 3. ユネスコ通信の発行について

- ・本日の理事会で、各地区に配布依頼をお願いした。

4. 「中部東ブロックユネスコ活動研究会 in 静岡」参加について  
・大会日程が別紙配られ各自確認をする。会員多数の参加を呼びかける。

5. その他

- ・講演会について会長より参加案が出された。  
2015年9月26日(土)午後1時30分～5時  
主催：ふるさと文化を語り継ぐ会  
演題：「平和を築くこれからの教育～長田新の生き方から学ぶ」
- ・教育委員会の後援が得られれば「諏訪ユネスコ協会としても参加しても良いのではないとの意見が出され、再度検討することとした。

第54回 理事会 平成27年8月21日(金) 午後6時30分 於；くらすわ

1. 会費納入状況について

- ・会計より未納者の確認を行った。会計が後日の納入確認を行う。
- ・入金確認後、本部へ会費の送金を行う。

2. 「中部東ブロックユネスコ活動研究会 in 静岡」参加について

- ・参加者9名(矢崎・濱・安藤・木村・清水・牛山・宮下・横森・笠原)。
- ・参加費 3,000円×9名=27,000円 を静岡ユネスコ協会へ振り込む。

3. 講演会について

- ・日 時：9月26日(土) 午後1時より

第55回 理事会 平成27年9月14日(月) 午後6時30分 於；事務局

1. 「中部東ブロックユネスコ活動研究会 in 静岡」反省

- ・オープニングの「玉川太鼓」の演奏は見事だった。
- ・静岡県知事の基調講演・静岡市長の話等大変良かった。
- ・静岡サレジオ小学校の研究発表を聞き、修学旅行も海外に行く等、かなり英語に力を入れた体験をされており感心させられた。
- ・大学教授の話は難しいが、各々の学校やこども園等の研究発表は解り易く良い発表であった。
- ・諏訪ユネスコの参加者は多い方であったが、参加の意義を考え今後、検討の余地があるのではとの意見がだされた。

2. 会費納入状況について

- ・会計より、66名全員納入済みとの報告があった。

3. アダプトプログラムの報告

- ・9月10日(木)19名参加。
- ・他の団体も行った後の為か割合にゴミの量は少なかった。

4. 「富岡製糸工場」見学会について

- ・地域遺産部会長より日程等報告された。

日 程……10月31日(土)

参加費……9,000円位

- ・各地区理事に募集チラシの配布を依頼した(締切10月10日まで)。

5. 9月26日(土)の講演会について

- ・時 間……午後1時～
- ・場 所……茅野市役所大ホール(8階)
- ・講 師……長田五郎・広瀬俊雄・川島弘
- ・演 題……「茅野が生んだ偉大な教育者  
今、長田新に学ぶ 命を大切にする教育とは何か」
- ・諏訪ユネスコ協会も主催者となった。
- ・会長より、協力金30,000円の出金依頼があり了承された。
- ・会員へのチラシ配布を各地区理事に依頼した。

第56回 理事会 平成27年10月19日(月) 午後6時30分 於；事務局

1. 各部会の報告

会長より6市町村あいさつ回りの中間報告を行った。

- ・下諏訪町・諏訪市・富士見町・茅野市の市長、町長、教育長に面会をし諏訪ユネスコ協会の活動を説明し、今後の協力をお願いした。

(1) 地域遺産部会

- ・「富岡製糸工場」見学会について  
日 程……10月31日(土)  
会 費……7,900円 当日集金

(2) 寺子屋部会

- ・「書き損じハガキ」今後の予定  
全児童に配布するチラシは前年と同様にし、訂正ヶ所の確認を行った。  
第1回寺子屋部会……11月13日(金) 事務局2階 6時30分～  
ポスター・回収ボックス・依頼文等、前年と同様に行う。

(3) ユネスコスクール推進部会

- ・茅野市永明小学校が、ユネスコ本部に登録する準備を行っているとの報告。

(4) 環境問題推進部会

- ・諏訪湖アダプトプログラム計画……第3回：10月24日(土)実施。

(5) 広報部会

- ・広報14号発行……11月末日を予定。

2. 新入会員について

- 金子 ゆかり氏 (諏訪市) 承認  
永由 恒司氏 (諏訪市) 承認

第57回理事会 平成27年11月12日(木) 午後6時30分 於；事務局

1. 各部会の報告

会長より市町村あいさつ回りの中間報告を行った。

- 原村……11月6日(金) 午前9時～ 町長・教育長へ挨拶  
町長・教育長に諏訪ユネスコ協会の活動を説明し、今後の協力をお願いした。

(1) 地域遺産部会

- ・「富岡製糸工場」見学会反省等について  
清水部長より有意義な研修旅行であった旨の報告がされた。

(2) 寺子屋部会

- 「書き損じハガキ」今後の予定
- ・第1回寺子屋部会……11月13日(金) 事務局2階 3時～行う。
- ・新部員もいる為自己紹介を行う。
- ・6市町村の教育長・学校長宛ての依頼文書を用意してあるので各地区持ち帰り配布してもらう。
- ・収集後、感謝状を各学校にお渡しするが、卒業生の在籍するうちにお渡ししたいとの意見があった(2月中を目安として本部に依頼する)。
- ・諏訪地域の高校生にも「書き損じハガキ」の回収依頼をしたらよいのではないかとの意見が出された。今後の検討課題とすることを決めた。
- ・第2回「寺子屋部会」  
12月11日(金) 午後6時30分～ 事務局2階 に決めた。

(3) ユネスコスクール推進部会

- ・茅野市永明小学校が、ユネスコ本部に登録する準備を行っているとの報告。

(4) 環境問題推進部会

- ・諏訪湖アダプトプログラム：諏訪湖周辺のゴミ拾いが3回、予定通り終了した。  
雨に降られる事も無く大変良かったとの報告。

(5) 広報部会

- ・広報14号発行……11月末日

2. 新入会員について

- 宮坂 弥生氏 (諏訪市) 承認